



誰もが持つ無意識の偏見

こんにちは。あまり出かけられない今年の休みは、アメリカのTVドラマ「ウォーキング・デッド」を鑑賞していました。ゾンビが襲ってくる中、生存者たちの人間模様を描いた人気ドラマでシリーズ11まであります。アメリカンホラーなので分かり易い内容で、日本の怪談のような、じわじわと来る怖さはありませんが、突然血が大量に出たりするので、心臓の弱い方・お子様はご注意を(笑)

ドラマの人間模様は、今どきの世界的な世相を反映しているのか？男性同士・女性同士のカップルや、異なる人種の夫婦など、LGBTにも気を配っているような人間関係になっていました。

アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）という言葉をご存知ですか？

アンコンシャスバイアスとは、私たちの誰もが持っている「無意識の偏見」の事で、日常のあらゆる場面に潜在的に現れています。

最近では自動車で世界的に有名なT社や、連合などでも学習が進んでいるそうです。アンコンシャスバイアスの強い組織では、職場の閉そく感、社員のパフォーマンスの低下、離職やハラスメントの増加、イノベーションが生まれにくい、等のマイナス側面があるそうです。

注意すべき
人・状況

- ・ 社内で肩書が付くような役職についている。
- ・ 社会的に多数派になっている。(社内は男性ばかりなど)
- ・ こうあるべき。という確固たる信念や思い込みが大きい。
- ・ 「あの人はこうだから」とステレオタイプに判断しがち



多様性（ダイバーシティ）が新たな職場の活力向上につながると言われますが、その阻害要因となるのが無意識の偏見（アンコンシャスバイアス）なのです。



そもそもバイアス（偏見）ってどうやって生まれるの？

生まれたばかりの赤ちゃんには知識も経験もないので、「偏見」というものはありません。

人が育つ課程で環境や所属する集団の中で、知らず知らずのうちに私たちの頭に刻み込まれ、既成概念、固定概念となって行くのです。



例として「男の子だから、泣かないの！」「お姉ちゃんだから我慢しなさい。」等、私たちは日常の生活で日々、こうあるべきという常識のようなものを周りから教えられる事で、刷り込まれ自分の中での固定観念・決めつけが、無意識に育まれてきます。

こうして生まれたバイアス（偏見）が、無意識（アンコンシャス）に人への評価の判断の基準に影響する事で、意思疎通の阻害要因となったり、社員の能力発揮を妨げるなど会社組織にとってのマイナス要因となる現象が、自主性の発揮や創造性の機会創出を阻害する要因になると言われ、注意が必要です。

～ 無意識で判断する事は、知識で予防するしかありません ～

バイアス（偏見）は場合によっては、正常な判断を妨げたり、視野を狭めて、取り得る選択肢を少なくします。

バイアス（偏見）はその人が生きて来た経験や所属してきた集団の中で培われ、新たに会うものに対して、経験から基づく予想や決めつけをして、ステレオタイプ化する事で判断のスピードを上げる側面もありますが、時と場合によっては正常な判断を妨げたり、行動を制限する要因にもなります。

「バイアス」の種類で典型的なものをいくつか挙げてみます。

◆正常性バイアス

危険な状況になっても、自分に都合の悪い情報を遮断して、無視したり・過小評価する。

例) 大雨で避難勧告が出ているのに「今までも大丈夫だったから。周りの人も非難しないから」と避難しない。

◆集団同調バイアス

集団に所属する事で、同調傾向・圧力が強まり自分の意思とは違う事でも合わせてしまう。

例) ゴミを片付けずに立ち去る仲間と一緒に「片付けないといけない」と思いながらも自分だけ片付けて、からかわれるのが嫌で、同じように散らかしたまま帰ってしまった。



盲人が象を語る。インドの寓話・・・ものの見方は一つではない。



ある盲人の集団が象を触って、感想を話し合いました。鼻を触った者は、「象とは柱（木の枝）の様だ」、耳を触った者が「象とは扇の様だ」、体を触った者が「象とは壁の様だ」、尾を触った者が「象とはロープの様だ」とそれぞれ触った部位により、同じ生き物を全く違うように表します。自分の主張を貫くだけではいつまでも象の本質は分かりません。しっかりと相手の話を傾聴する事で、客観視して象の正体や本質が見られて、同じものが見えてきます。

「恋は盲目」も分かりやすい、バイアスの一つ “ポジティブハロー効果”



他人からみて、「そんなにかっこ良いかなあ」と思う人でも恋する本人から見れば、全てが素敵に見えるのも、事実をゆがめて自分の都合のように見てしまうバイアスと言えます。*逆もしかりで「坊主憎けりゃ、袈裟まで憎い。」も同様です。

私たちの日常で起きているバイアス（偏見）は、事実を歪めて判断に影響を及ぼします。正負それぞれの効果がありますので一概には言えないかも知れませんが、もしかしたら自分は物事を自分の見たいように見ていないか？ 都合の良い面ばかりを見ていないか？ 都合の悪い情報を聞き流していないか？ 反対に、その人のネガティブな面ばかりを気にして、良い面を見落としていないか？

一歩引いて、自分の判断を客観視すると、バイアスに影響されずに「象の正体を見抜く」事ができるかも知れません。



自分の中の無意識の偏見を意識して探し出す事で、活力ある会社に近づく事でしょう。